

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 12 月 26 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401608		
法人名	有限会社 八神		
事業所名	グループホーム あまぎり		
所在地	〒859-1503 長崎県南島原市深江町丙 357		
自己評価作成日	平成23年12月3日	評価結果市町受理日	平成24年1月16日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所 1階
訪問調査日	平成23年 12月 15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「毎日が笑顔」をモットーにし、地元で採れる旬の食材を美味しく食べ、日光を沢山浴び、体内時間を充実させ、お茶の葉を入浴剤として使用し、リラックスした入浴を楽しまれています。ホーム内の野菜作りをしたり、地域のイベント、ホームの行事、中学生との交流に参加し、笑顔で過ごして頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

利用者と職員の明るい笑顔と楽しい会話で、ホーム全体は温かく和やかな雰囲気にも包まれている。他ホームでは受け入れ困難であった方も当ホームでは、医療面とのチームワークもよいことから安心して生活できる環境にあり、職員も勉強熱心であり、研修受講の機会も多く学びの場を大切にしている。また、個々のニーズを十分に把握し、外出や食事など楽しみ事を積極的に支援されていた。家族の意見や外部評価を、日頃を振り返る良い機会と捉え更なる質の向上をはかりたいとしており、今後益々の発展が期待できるホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「毎日が笑顔」をモットーとし全員で笑顔を多くみられる様にしている</p>	<p>利用者も職員も楽しく過ごすことを大切にしており、笑い声が絶えない明るいホームである。職員は、日々の声かけや行動などで心がけており、実践にも繋がっている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>毎年神輿来所、地域のイベント、スーパーへの買い物</p>	<p>野菜や果物の差し入れ等、日常的な地域との交流がある。地元中学生による福祉体験の受け入れなど、地域にも貢献したいとしている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>深江中学校の生徒様の[福祉体験学習]を受け入れている又障害者自立支援の職場実習の受け入れも準備段階です</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活動報告、お便りにて会議内容を家族へ報告 入居者も会議に参加している</p>	<p>2ヶ月に一回、家族代表、市職員を招き開催されている。参加メンバーに要望はないか常に尋ね、アドバイスをもらう有意義なものとなっている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>島原半島連絡協議会に加入しホーム長会議、本部役員等している</p>	<p>現在、公的扶助の利用者がいることから福祉事務所と連絡をとっている他、今年は運営推進会議に町内の市議会議員に参加してもらった。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>開所当初から身体拘束廃止の姿勢に努め拘束を必要としないサービスを心掛けている</p>	<p>「拘束はしない」と定めされており、玄関は日中いつも開放されている。安全防止に努めながら、今後取り組みたいとしている。来年1月には、拘束・虐待防止の研修へ参加予定である。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>介護に拒否されたら他の職員と素早く交代している。(職員のストレスを貯めない、精神状態を安定させる)</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>支援なし</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学时、入所予約時、入所時に説明し同意をして頂いてます。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時や電話によるコミュニケーション、毎月の「あまぎり」だより</p>	<p>家族からの意見を大事にしており、面会時は要望がないか尋ねるようにしている。自然に言える雰囲気大切にしており、直接意見を言われることもある。また、要望は早急に受け止め実施に繋げている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議時、毎日朝の申し送りなど職員の意見を聞く機会を設けている</p>	<p>定期的な職員会議の開催はないが、日々職員同士で情報交換を行っている。実際に職員からの要望で備品を購入するなどの事例も多い。職員一人ひとりが主役としており、得意分野を大切にされている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	勤務表作成時希望を聞き作成		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	研修に出来るだけ沢山参加している。本年度は管理者研修2名、実践者研修1名		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	島原半島GH連絡協議会で開催される研修や南ブロックでの研修会に参加している		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	ご本人様の御要望を聞き希望にそえるようコミュニケーションをとる		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族様と連絡を密にとり問題点、御要望を聞くよう努める		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご家族や病院からのサマリーを元にサービスを検討している(当面のサービス提供票作成)		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の要望やご意見を聞いている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>いかなる時も家族の意向に沿えるよう連絡を密にしている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>年賀状、暑中見舞い、行事案内や「あまぎり」だよりを子供、孫、親戚、兄弟知人(家族から申し出有る方)に発送しています</p>	<p>入居前に隣に住んでいた方など馴染みの人の面会がある。面会に来られたら、利用者と共にホームの車で送る支援もある。利用者は、島原のアーケードを散歩するなど馴染みの場へ外出することもある。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご本人のレベルに合わせた介護をし気の合うグループにする又孤立しないよう声掛けや誘導している</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>「あまぎり」の行事(夏祭り)のご案内、年賀状、暑中見舞い等の発送</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの思いを会話の中から見つけ出し、笑顔で暮らせるようにしている</p>	<p>その日に食べたいもの、行きたい場所、何がしたいかなど日常的な会話から意向を聞くことを大切にしている。面会時には家族へも尋ねるようにしており、ニーズの把握だけでなく実現にも繋げている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>なかなかご家族の方も生活歴について把握出来てない部分があり困難なときがある</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>朝のバイタルチェックや表情や動き、しぐさから現状の把握をしている</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>検討会議を開き意向や希望を聞き介護計画を作成</p>	<p>職員全員で話し合いながら、ケアプランが作成されている。目標は短期を3ヶ月、長期を半年に設定し、モニタリングを3ヶ月おきに行っている。本人・家族を含めた担当者会議も開催されており、思いや意見を反映させることに努めている。</p>	<p>日々の記録の中で、状態変化時の様子は詳細に書かれているが、プランに沿った記録にはなっていない。サービス内容に掲げたケアを行った時の様子などを記載することで、見直しの際の大切な材料のひとつになると思われる。負担がない程度で記録の再検討に期待したい。</p>
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録、医療連携ノート、看護記録等が有り共有し合い実践につなげている</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の要望有る時、特変事に素早く対応する又外泊希望時家族の送迎が困難な時職員で送迎してます</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>畑の野菜収穫に参加したり、ホームの畑でやさいを栽培する又地域のお祭りや催しに出かける</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族に受診前後の報告をし要望や希望を先生に伝える又受診時家族も同行して頂くときもある</p>	<p>基本的に本人・家族の希望を大切にし、市外への受診支援も行われている。状態変化時は受診後に電話で家族へ連絡、結果を報告している。ホームの協力医には頻繁に行き来があり、気軽に相談できる関係にある。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員のきずきを看護師に連絡する看護師は定期受診に同行し、結果を職員に伝える(看護記録、医療連携ノートに記載する</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時介護サマリーを作成し情報提供をしている又入院中に様子を観に行って病院関係者と情報交換に努めている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>24時間連絡可能な看護師配置又重度化、看取りの説明書、同意書を得ている。医師も協力して下さいます。(入院中死亡された時家族の方が死後の処置を職員に依頼されたこともある)</p>	<p>ここ数年はないが、今までに数回のホームでの看取りの経験がある。ホームで過ごしたいという希望があれば、できる限りの支援を行いたいとしており、ホームでの点滴治療、食事形態の変更も可能である。医療チームとも協力し、熱心なケアが行われている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルに従い行動する</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施マニュアルの確認 近隣の方の協力を得られるようになっている</p>	<p>今年度は、火災を想定した避難訓練を実施したが、消防署立会いもとの訓練は実施されなかった。来年3月までには、自動火災通報設備を設置予定であり準備が進んでいる。</p>	<p>火災だけでなく、さまざまな災害(地震・風水害など)を想定した実践的な訓練の実施と、非常時の持ち出し品(全身写真付の持ち出しファイルを含む)の準備の検討にも期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬語使用を基本とし時にはその人が元気な時使用していた言葉（地域で使う言葉）も使う	利用者一人ひとりに合わせた言葉かけが行われている。職員が気づかず、強い口調になってしまった際は、管理者がその場で注意するようにしている。以前に比べてよくなってきており、今後も気をつけていきたいとしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から思いや希望をくみ取り確認することで自己決定につなげている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様に合わせ暮らし頂く(突然弁当ば...と言われお花見に出かける等)		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりのこのみに応じてます〔洋服を買いたい〕と希望があればお店に同行し自分で選ばれます		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものを聞き提供したり後かたづけや味付けの評価をして頂いている	食べることは利用者の楽しみの一つであると考え、本人の好きな食べ物が提供されている。新鮮で旬な食材でバランスの良い手作りの食事で1日・15日は赤飯や刺身（必要に応じて湯引き）を準備され、日にちの感覚の認識にも繋がっている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は1日1500mlを目安とし無理せず飲んで頂いています。糖尿病のかたは毎日血糖値をみながら食事量を調整している		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨き施行。また今年4月、11月日本訪問歯科協会様によるお口の健康相談会(訪問歯科検診)を受けてます</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄記入表(24時間シート)を用い、日中はトイレ誘導している。又訴え有る時対応している</p>	<p>排泄チェック表には全員を記入し、排便がない場合は適宜下剤等でコントロールしている。2時間おきのトイレ誘導を行ったことから、オムツの使用回数が減り、自分から排泄を訴えるようになった事例もある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ルイボスターを飲用し、野菜中心の食事を提供 廊下を歩行、戸外へ散歩に出かけている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>1日置きの入浴(お茶風呂)と、失禁時の入浴又希望が有る時入浴している。夏場はほとんど毎日シャワー浴をしている</p>	<p>基本的に1日おきの入浴であるが、希望があればいつでも入浴可能である。殺菌効果がある茶バックを使用し、皮膚の状態がよい。また、近所の花屋さんからいただいたバラでバラ風呂をしたり、季節に応じたゆず湯など利用者にも好評である。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>天気の良い時布団を日光に当てたり、シーツを洗濯する。(現在睡眠導入剤の使用者0名)</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個々に処方されてる薬の種類を把握し確薬する。個人記録に処方箋をファイルし必要時はすぐ見られるようにしている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせ出来る事をして頂き、好きな物を提供している。おやつに出来たパンをお店のテーブルで食べにお店へ行く</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>毎日庭先に出たり野外昼食会、畑の野菜を観に行く、ジャスコ、ぷらむ(パン屋さん)、等希望が有れば外出可能</p>	<p>今年12月初めに介護車両(車椅子可)を導入し、利用者全員での外出が可能となる。早速、外出されてたいへん喜ばれている。外出の頻度も多い。(週に数回の時もある)</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の方からお金を預かりこずかい帳をつけている。買い物の際自分で支払してもらってます</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>毎月「あまざり」だよりと一人ひとりの様子を写真とコメントをいれたお便りを発送している。電話の取り次ぎもしている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下の壁に写真の掲示や季節の花が有り外の畑には季節の野菜が有る</p>	<p>玄関付近や共有スペースには季節の花(ポインセチアや葉牡丹など)があり、季節をホームにしながらにして感じる事ができる。気になるにおいては全くなく、温かく心地よく過ごすことができる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでテレビを見たり、会話を楽しまれたり、畳の部屋で日なたぼっこをされている</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた寝具を使用したリ、個人用リクライニング車椅子、ラジオ、テレビ、タンスを使用	写真、遺品など利用者それぞれが思い思いの品を持ち込まれている。面会の方にも利用しやすいようにホームからソファを提供されたこともある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	3部屋にトイレを配置、1部屋に自宅で使用されていたテレビやポータブルトイレを使用されています		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない